

2012:東芝超電導1.5TMRI装置Vantage Titan (M-power)発売



- プラットフォーム(M-Power)の機能を強化し、アプリケーションCardioLineで検査効率を図ったVantage Titanを発売
- CardioLineにより、心臓MRI検査の最初におこなう基準断面の煩雑な位置決め作業が解消し、検査時間の短縮と患者の負担軽減を図った。
- 開口径71cmとし、検査空間を134%広くした。また静音化技術を継承し、検査時の騒音を最大90%低減。
- 装置外観デザインを一新し、検査室環境を改善。
- エコモードにより、待機状態での消費電力を年間15,500 kw/h削減。